

令和6年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立ひばりが丘中学校

全国学力学習状況調査（中学校第3学年）

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものと適切なものを選択する	86.5	ほとんどの設問で都・全国の平均よりも高い正答率であった。「言葉の特徴や使い方に関する事項」と「我が国の言語文化に関する事項」に関する問題の正答率がかなり高く、書写の授業と日頃取り組んでいる百人一首の活動が充実していることが分かる。	自分の考えを様々な語彙を用いて的確に表現したり、文章中の内容を正確に捉えてまとめたりすることに課題がみられる。 授業内では①自分の考えを短時間で200字以内で表す。②話し合い活動から得られた語彙を、自分の考えに活かす。活動を取り入れていく。
	短歌に用いられている表現の技法を説明したものと適切なものを選択する	69.6		
	表現を工夫して物語の最後の場面を書き、工夫した表現の効果を説明する	56.8		
	本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する	52.7		
数学	文字による説明	39.9	今年度は4つの領域・3つの観点ともに全国平均より5ポイント以上上回った。10ポイント上回る場所もあった。習熟度別少人数授業で生徒の実態に合わせた授業進度で理解度を高められたと考えられる。	特に2つの問題で全国・都の平均を上回ってはいるが、正答率は低い。図形の証明は理解しているが、文字や式を用いての説明は深く理解しているとはいえない。結論を導くために、事象を文字式で表す思考力を高めなければならない。
	式やグラフを用いて説明	27		